

## 北海道立向陽ヶ丘病院認知症疾患医療センター基本方針

北海道立向陽ヶ丘病院の基本理念である「こころの和と輪」とは、患者と医療者のこころの「和」を意味し、患者の視点を尊重した精神科チーム医療を象徴としており、患者の人権を擁護する精神科医療は、こころの「和」を形づくる基本でもあります。もうひとつの「輪」とは、地域社会とのこころの「輪」を構築し、地域に開かれた病院であることを意味しています。

このような病院と地域社会の連携は、認知症疾患における精神保健福祉活動を推進する基盤となるものです。

この基本理念に沿って、当院の特徴を踏まえた認知症疾患医療センターを開設しています。



北海道立向陽ヶ丘病院認知症疾患医療センターは、オホーツク三次保健医療福祉圏の認知症疾患の保健医療水準の向上を図るためのものであり、具体的には保健・医療・福祉・介護機関等と連携し、鑑別診断、急性期医療、専門医療相談等を実施するとともに、関係者への研修等を行うこととしています。

また、認知症の方が地域で安心して生活できるよう、医療機関同士、更には医療と介護の連携の推進役となり、地域の支援体制の充実を図ることとしています。